

Project	地域協働専攻 国際協働グループ
	<b>A12 函館の国際交流活動の現状と課題</b>
メンバー	[学 生] 《SNS》工藤彩桜、村上凜花、関真衣穂、服部光亜、横山麻友子 《W MDF》東田響稀、伊藤大祐、三上莉奈、左川凜、渡邊なつ、木村周 [担当教員] 河鎌洙

**【背景】**

開港150周年を迎えた函館は、様々な形で国際化、国際交流を進めてきた。本プロジェクトを通して現在行われる国際交流活動を体験することで、そこからもたらされる効果や課題について考えること、またその発信をすることから、私たちは地域に根付いた国際交流活動について知識を深めていきたいと考えた。

**【目的】**

活動を通して、函館の国際交流の現状について知る。

**【概要】**

函館において行われている国際交流の現状を知るため、実際の地域で行われている交流に参加し函館の国際交流活動に貢献すること、並びに SNS を通じた函館地域の発信を行うことによってより多くの人々が函館市で国際交流をすることができるようにしようと試みた。

**【プロセスと成果】**

**《SNS》**

前期はSNSを通じて函館を発信するためアカウントを一から作成し、函館市における国際交流イベントに参加することや、飲食店を訪れSNSで紹介するための投稿の英語訳や韓国語訳、中国語訳を行った。一方で、SNSにおける人々の反応が少数であった。そこで、後期は、SNSでの外国人の反応を得るため具体的な目標として、海外からの反応を30件と設定し、SNSアカウントの拡散活動に取り組んだ。



**《W MDF》**

前期は、ボランティアに向け説明会の実施や広報活動を行った。8/5-9で開催されたはこだて国際民俗芸術祭(W MDF)においてボランティア活動に参加し、函館で行われる国際交流の場を運営視点・観客視点の両方から体験することができた。

この活動を踏まえ、後期にははこだて国際民俗芸術祭の今後の展望などをお聞きし、函館校の地域プロジェクトとしてどのように関わっていけるかを考えた。また、函館のホールマークイベントを目指す当イベントに少しでもお力添えをできればと思い、企画書の作成を行った。



スタッフミーティングの様子

**【総括と反省・今後の課題】**

**《SNS》**

前期は、SNSのアカウントを作成し、地域の国際交流にも参加することができた。

後期は、SNSのさらなる閲覧者の獲得のために翻訳の正確化を重視した投稿を行なった。

前期の活動と比較して、SNSにおける閲覧者は圧倒的に多くすることができた。一方で、国際交流イベントへの参加の機会が少し減ったため、現状を把握する機会が保てているとは言えなかった。

活動を通して、目的である函館の国際交流の現状について知ることができているように感じた。地域の人々との連携によってプロジェクトをさらに効果的なものにする事ができた。

今後の課題として、SNSアカウントの閲覧者数を増やすためには、より多くの時間が必要になるためこの活動を

次年度へ引き継ぐことと考える。

《W MDF》

前期では、はこだて国際民俗芸術祭のイベント自体がどのようなものなのかが分からず、どのような取り組みを行うべきなのか、行えるのかが把握できていなかったため、運営スタッフからの指示で動いていた形になっていた。

夏のボランティア活動を経たことで、後期には地域プロジェクトとして行えることのビジョンがしっかりと見え、メンバーの意識も上がったように感じる。各自で考えること、準備することも増え、協力や連携が取れるようになった。

前期と後期の活動を比較すると、前期では運営スタッフの方とのやり取りがメインになっていたため、プロジェクトメンバーの連携が取れないままになっていたことが反省点であった。後期ではその点においては解消されたように思えるが、一方で運営スタッフの方と連絡が滞ってしまった点は懸念される。

【地域からの評価】

《SNS》

中間発表や最終発表の資料を提供し評価をもらった。

活動に積極性が伝わってきて協力したいと思う活動だったなどの意見があった。地域のイベントも若い世代にもっと知ってもらうためにはいい活動という意見もあった。

《W MDF》

活動を通して、はこだて国際民俗芸術祭の運営スタッフの方から、積極的に行動してほしいとお声をいただきました。プロジェクトメンバーが自らこのイベントを通してやってみたいこと、知りたいことを見つけ、アクションを起こすことができるとより楽しく活動できるのではないか、とのことでした。

【その他】

年間スケジュール

《SNS》

■前期

- ・SNSアカウントの作成及び運営
- ・笹の墓標展全国巡回展 函館の広報
- ・第35回第二次世界大戦末期北海道函館空襲殉職者追悼慰霊祭参加
- ・第19回 NPO 祭り

■後期

- ・SNS アカウントの運営

《W MDF》

■前期

- 「はこだて国際民俗芸術祭の準備」
- ・運営スタッフとの顔合わせ
- ・学内でのボランティア募集説明会の準備・実施
- ・イベントの広報活動(チラシ・ポスター)
- ・ボランティアスタッフミーティングの参加
- ・ボランティア活動(8/5-9)

■後期

- 「はこだて国際民俗芸術祭における反省・今後の課題」
- ・各ボランティア内容の振り返り
- ・イベント参加に対する振り返り
- ・イベントの活性化のための企画書作成
- ・次年度への引継ぎ内容のまとめ
- ・成果発表会に向けた準備